

# EdgeTX v2.12.0

"Queen Anne's Revenge"

v2.11.5からの変更点まとめ

---

作成: ほすとそに工房

2026年3月

## 重要な前提

※ STM32 F2ベースのラジオはv2.12以降サポート対象外

以下のラジオはv2.12からサポート対象外となった。最終サポートはv2.11系列で、今後はバグ修正に限りv2.11が維持される。

- FrSky X9D ACCST版 / QX7 ACCST版 / XLite / X9 Lite
- Jumper T12 / T-Pro / T-Lite
- RadioMaster T8 / TX12
- BetaFPV LiteRadio 3 Pro

## 新規対応ハンドセット

STM32 H7ベースの次世代ラジオが複数サポートされた。

- RadioMaster TX15
- RadioMaster TX16S MK3 / TX16S MK3 MAX

## カラーLCD機 (TX16S Mk2含む) の変更

### UI変更

- クイック/メインメニューのUI変更: EdgeTX 3.0  
UIが差し戻され、テーマ対応に。アイコン/ラベルの前景色と背景色をカスタマイズ可能。
- モデルノートのタブ表示: モデルノートがある場合、モデルセットアップ画面にタブとして表示。

### 新機能

- QR GPSコードロケーターツール追加: GPS搭載モデルで位置情報をQRコードで共有可能。
- 画面レイアウトオプション追加。

## B&W画面ラジオの変更

- モデルクイック選択オプションが追加。
- ミックスのソースオプションがカラー画面機と統一。

## STM32F4ラジオ全般 (TX16S / TX16S Mk2含む)

- 起動速度がv2.11より高速化。
- CRSF外部モジュールの速度が3.75Mbpsに制限される修正 (安定性向上)。
- MPM (マルチプロトコルモジュール) との同期喪失問題が修正。

## プロトコル関連

- DSMPとDSM2が分離。DSMPステータス表示とAETRオプションが追加。

- MPMワイヤレストレーナーはCRSF/ELRS併用時、250Hz以下で使用する制限は変わらず。

## Companion (PC側ソフト) の改善

- ファームウェアフラッシュ全般が改善。UF2ファイルのサポート追加。
- ExpressLRS Luaツールをアップデートチェック時に自動ダウンロード・インストール可能に。
- モデル・ラジオ設定書き込み時にキャリブレーション設定が保持されるように修正。
- モデルノートが.etxファイルに保存されるように。
- 言語がALL\_LANGS設定時にテキスト言語を別途選択可能に。

## その他の修正

- グローバル変数の値と範囲が正しくない問題の修正。
- スクリーンショット保存時のエラーチェック改善。
- WS2812 LEDのDMA転送完了前にチャンネルが無効化される問題の修正。

## TX16S Mk2 に特化した影響まとめ

TX16S Mk2はSTM32F4ベースのカラーLCDラジオであるため、以下が直接該当する。

1. 起動が速くなった  
v2.11より体感で分かるレベルの高速化。
2. クイック/メインメニューがテーマ対応  
前景色・背景色をカスタマイズ可能に。
3. 3.0 UIの差し戻し  
メニューの見た目が若干変わるが、機能的には改善方向。
4. モデルノートがタブ表示  
モデルセットアップ画面で確認しやすくなった。
5. QR GPSロケータ追加  
GPS搭載モデルで位置情報をQRコードで共有可能に。
6. CRSF外部モジュール速度制限 (3.75Mbps)  
ELRS使用時に関連する安定性修正。
7. MPM同期喪失バグ修正  
外部MPMモジュール使用者にとって重要な修正。
8. Companionのキャリブレーション保持  
設定書き込み時にジンバルキャリブレーションが消えなくなった。
9. DSMP/DSM2分離  
Spektrum系プロトコル使用者向け。
10. 従来通りFlash via USBで更新可能  
H7機と違い、DFU方式がそのまま使える。

※ アップデート前に必ずモデル・ラジオ設定のバックアップを取ること